

リオネット補聴器 リオネットシリーズ

笑顔の日も、何気ない日常も—— 使い続けてもらうことが 補聴器の価値になる

朝起きると補聴器に手を伸ばし、身支度が始まる。そんなふうに、補聴器が暮らしのなかで当たり前存在になっていく。それが73年の歴史を有する国産補聴器メーカー、リオネットの理想だ。

この数年で、補聴技術は驚くほど進化してきた。それでも日本は欧米に比べて補聴器の普及率が低く、いったん使い始めても「自分には合わない」と使うのをやめてしまう人が少なくない。「必要ならに補聴器をお届けできていない。こうした状況は、私たちメーカーの取り組み不足と受け止めるべきでしょう」。リオネットの太田昌孝さんは現状をこう捉える。

「どれだけ先進的な機能を備えた補聴器が登場しても、ユーザーの皆様に使ってもらえなければその真価は発揮できません。まずは聞こえに悩む方が安心して補聴器を手に取り、その後も使い続けたいと思える環境を整えることが、私たちの役割だと思います」

まずは補聴器を「毎日使い続ける気持ちになってもらう」ことを

第一に考える——そのためにリオネットでは最適な補聴器選びや、音に馴染むためのトレーニングなど、補聴器に関わるすべてのプロセスを「フィッティング」と捉えて、社をあげて取り組んでいる。2014年にはフィッティングに関する理念を「リオネット・フィッティングポリシー」として明文化し、ユーザーが補聴器を使うための支援を続けている。

「耳が新しい音に慣れるには一定のトレーニング期間が必要です。毎日使い続けていくことで、次第に補聴器が違和感のない。自分の耳の一部になっていく。そうなるようやく、スタートラインだと思っています」と太田さん。補聴器が特別なものではなく、日常になる日を目指し、これからもフィッティングに力を入れていくつもりだ。

自然な聞こえという 基本性能を磨きぬく

ユーザーにとって本当に必要な価値を考える姿勢は、リオネットの補

オネットシリーズはその声を出発点に、聞こえやすさという基本性能を徹底して高めました」と話す。人間の聴覚は「くわすかな音のズレを感じ取り、違和感を覚えてしまうほどに繊細だ。それゆえに『自然な聞こえ』の実現は並大抵の努力ではできない。最新の「リオネットエンジン」はその難しい課題に正面から向き合い、微細な違和感の解消に成功している。

大きな進歩は「時間遅れ」の改善である。デジタル補聴器は、内蔵されたICチップが音を出力するまでにごくわずかに「数字にする

ると100分の1秒以下のタイムラグ（中野さん）が生じ、ユーザーに形容しがたい違和感を与えていた。リオネットエンジンはそのわずかな時間遅れを短縮。さらに、不快なピーピー音を抑制するハウリングキャンセラーの精度も一段と高めている。残響抑制機能も新たに搭載し、日常会話はもちろん、マイクを使う講演会や響きやすい室内でも言葉がぐつと聞き取りやすくなっている。

聞こえが自然になっただけではなく、見た目にも高級感が増した。耳かけ型のリオネットシリーズは

光沢のある塗装で、カラーによってはジュエリーのように輝く。人肌に馴染むシルバーのほか、高級車を思わせるレッドなどもラインアップし、大人の耳元のおしゃれといった印象だ。

また、扱いやすさにも細やかに配慮した。つんと突き出たボタンは指先だけで探しても場所がすぐわかり、押せば確かなクリック感が心地よい。「毎日身に付けるものだからこそ、ストレスなく使えるのももちろん、手に取って心が躍るようなデザインも大切だ」と思うんです」と中野さん。「暮らしに慣れてはならないパートナーとして愛着を持っていただければ、メーカー冥利に尽きます」と笑顔を見せる。

ほとんどの人にとって、補聴器を付けるのは新しい習慣となる。太田さんはこう話す。「サポートと製品の品質、その双方がそろってようやく、補聴器を使い続けたいという気持ち生まれるはず。何気ない毎日につつとそばに寄り添える。そんな補聴器へ育ててほしいと願っています」

毎日つけるのが自然で、
愛着を持てる補聴器に育てて
いただきたいですね



リオネット株式会社 医療機器事業部
第一開発部 補聴器開発一課
中野達也さん

聴器づくりも進化させてきた。同社の73年のあゆみが凝縮した最新補聴器が、ブランドの名前を冠した「リオネットシリーズ」である。

開発に携わった中野達也さんは「補聴器を使う方の声に耳を傾けると、何よりも皆様が望むのは『自然な聞こえ』だと痛感します。リ

使いやすさを細部まで
計算したケースデザイン



つんと突き出たボタン
装着時にボタンの位置を指先で容易に把握・操作できる。

流線形のフォルム
親指で支えながら操作できるため安定する。

電池を+-どちら向きに入れても作動する「おまかせ回路」も搭載

これから楽しむ人の補聴器

RIO NET
リオネット

GOOD DESIGN AWARD 2017



お近くのリオネット補聴器専門店のご案内、カタログのご請求は

フリーダイヤル

0120-2933-76

受付時間
9:00~21:00

Quality of Sound, Quality of Service
リオネット補聴器

リオネット株式会社 本社・営業部 〒185-8533 東京都国分寺市東元町3-20-41 TEL.042-359-7880 FAX.042-359-7441

●きこえが気になったら、まずは耳鼻咽喉科での診察をお勧めします。●補聴器は使用開始前に個々の難聴や「きこえ」の程度に合わせてフィッティング(調整)することが必要です。